

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年 2月 17日 第35号
発行;校長 村上謙一

【第6回 全国に広がるチーム担任制】

チーム担任制の具体像をお伝えする6回目。今回は教育新聞1月23日版の記事からお伝えします。

「福井県教育委員会はこのほど、2025年度からの5年間で取り組む教育施策をまとめた第4期福井県教育振興基本計画の骨子案を公表した。新たな施策として県内の小中学校で複数の教員で子どもを見守る「チーム担任制」を推進していく。県教委の担当者は「できる学校から段階的にチーム担任制を導入し、教員の働き方改革につなげたい」と強調した。……今後はチーム担任制の加配教員の配置も検討しており、たとえば1学年2クラスならばそれを3人の教員でみるような、加配教員を活用したチーム担任制を目標としている。……」

チーム担任制を導入した学校に先生を増員して配置してくれるという、夢のような計画です。以前にお伝えした通り、富山県南砺市も全市をあげて取り組んでおり、神戸市も教員を増員配置して取組校を増やしています。同じ兵庫県の川西市立多田小学校はチーム担任制に合わせて、午前中40分授業×5時間の校時を設定するなど全国の教育関係者の注目を浴びています。京都市は学校ごとに担任制とチーム担任制を選択できる体制を整えました。名古屋市では八幡中学校がチーム担任制を導入しています。各種研修会では各都道府県の取組校からの報告が増えています。チーム担任制は全国的なうねりとなっているようです。

本校では、チーム担任制を推進するにあたり、手段が目的化しないことを心にとめています。チーム担任制は手段にすぎません。目的は子どもの主体性、当事者意識を育むことです。そのための支援を一人ひとりに合ったものにするのです。この手段として、複数の先生が担当して多面的に理解するチーム担任制が欠かせないのです。チーム担任制の副産物として教職員の働き方改革も進むのかもしれませんが、これは本来の目的ではなく効果のひとつです。あくまでも子どもがまんなかの挑戦です。



【メタセコイヤを半分程度の高さに剪定します】



サポーターからの情報では、ちびっこ広場のメタセコイヤは、平成2年天皇陛下即位式の記念植樹ということです。また、1952～54年頃、教科書会社が全国に苗木を配付した時期があり、2本ともその時のものという情報もあります。いずれにしても植樹から35年かそれ以上の期間、一西小の子どもたちを見守ってくれてきたこととなります。

現在、南海トラフ地震がいつ発生してもおかしくない状況にあります。校庭の2つのメタセコイヤの一方は幹線道路を、もう一方はJRの線路を倒木によって遮断する可能性があります。子どもの安全も考えると、強い揺れの際、途中で折れない程度の高さに整える必要があります。市当局とも相談して予算がつき次第、現在の半分程度の高さに剪定します。早くても10月以降になりますが、地域の皆様におかれましてはよろしくご理解をいただけるようお願いいたします。また、この木の由来をご存じの方がみえましたら、昔話を校長室までお届けください。

【2/5 よみきかせ】



よみきかせメンバーが増えて、なかなか私が絵本を読むチャンスがまわってこなくなりました。大変うれしい悩みです。地域の大人の活動が自走していく姿がここに 있습니다。ありがとうございます。

【2/6 一西入学説明会と一宮中学校入学説明会】



午前に新入児童の保護者に向けた説明会、午後は6年生が参加しての一宮中学校入学説明会が開かれました。本校の入学説明会ではPTA会長様からPTA活動と、来年度からさらに一歩進めるチーム担任制への期待の思いが語られました。あわせてバザーも開催しました。ご協力ありがとうございました。